

『新訂版 周産期ケアマニュアル』第3版第1刷 正誤表

『新訂版 周産期ケアマニュアル』第3版第1刷(2020年3月15日発行)につきまして、以下のとおり、誤りならびに修正箇所がありました。ここにお詫びするとともに、訂正させていただきます。なお、本文の修正に伴い、図2についても以下のとおりとなります。

2021年10月 サイオ出版

頁	訂正箇所	誤	正
99	②一過性徐脈(deceleration)	<加筆>	心拍数減少の開始から最下点までの時間が、急速であるか、緩やかであるか肉眼的に区別する。その境界をおおよそ30秒とする。
	・早発一過性徐脈	子宮収縮に伴って規則的に反復する一過性徐脈で、子宮収縮の開始と同時に心拍数が低下し、子宮収縮の終わりとともに回復する(図2-a)。	子宮収縮に伴って規則的に反復する一過性徐脈で、子宮収縮の開始と同時に心拍数が緩やかに低下し、子宮収縮の終わりとともに回復する。
	・遅発一過性徐脈	心拍数の低下が子宮収縮の開始よりも遅れて始まり、心拍数の最下点は子宮収縮のピークより遅れ、徐脈の回復が子宮収縮の終わりより遅い。(図2b)。	子宮収縮の開始よりも遅れてに心拍数が緩やかに低下し、徐脈の回復が子宮収縮の終わりより遅い。
	・変動一過性徐脈	15 bpm 以上の心拍数減少が 30 秒以内の経過で見られ、回復に15秒以上2分未満かかるもの。子宮収縮と同時にみられることが多い(図2-c)。	15bpm 以上の心拍数減少が急速に起こり、回復に15秒～2分未満かかるもの。

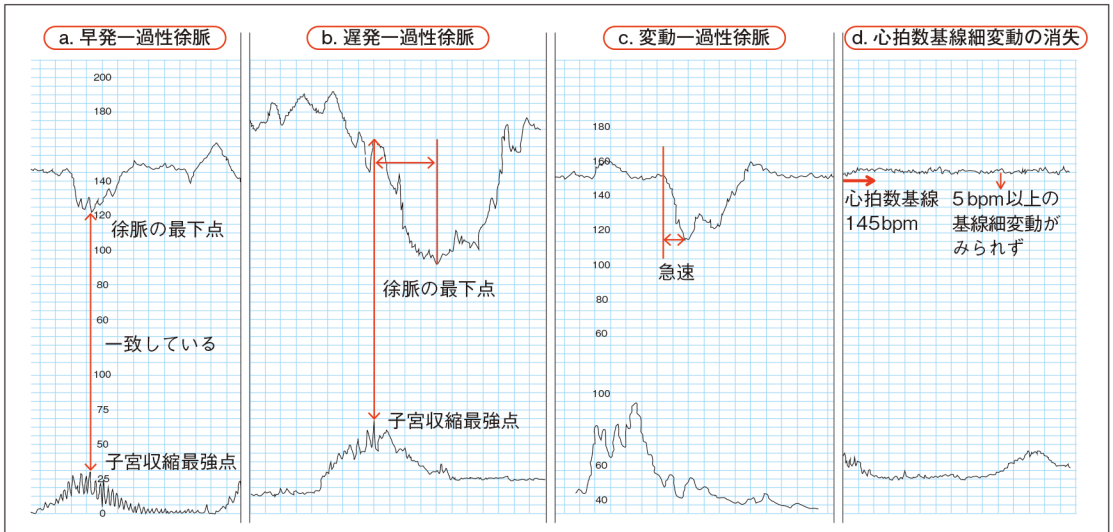


図2 胎児心拍数の変動

②一過性徐脈(deceleration)

・早発一過性徐脈(late deceleration)

子宮収縮に伴って規則的に反復する一過性徐脈で、子宮収縮の開始と同時に心拍数が緩やかに低下し、子宮収縮の終わりとともに回復する(図2-a)。

・遅発一過性徐脈

子宮収縮の開始よりも遅れてに心拍数が緩やかに低下し、徐脈の回復が子宮収縮の終わりより遅い(図2-b)。

・変動一過性徐脈

15 bpm 以上の心拍数減少が急速に起こり、回復に15秒～2分未満かかるもの(図2-c)。